

化学生命理工学科の概要

設置の趣旨・必要性

“グリーン・イノベーション” & “ライフ・イノベーション”

「イノベーションを推進する人材育成」が重要課題（第4期科学技術基本計画）

地域的・社会的ニーズ

- ⇒ ものづくり技術の継承，人材育成（日本再生プロジェクト）
- ⇒ 持続可能な資源利用 & 低炭素社会の実現（JST「科学技術イノベーション創出に向けた研究開発戦略」）
- ⇒ “治療から予防へ” 革新的な診断方法の開発（健康・医療戦略推進本部「健康・医療戦略」）
- ⇒ バイオ技術進展による産業創出（経団連長期ビジョン）

急速な少子化による人口減少

超高齢化社会の到来

産業基盤の脆弱化 & 経済の衰退

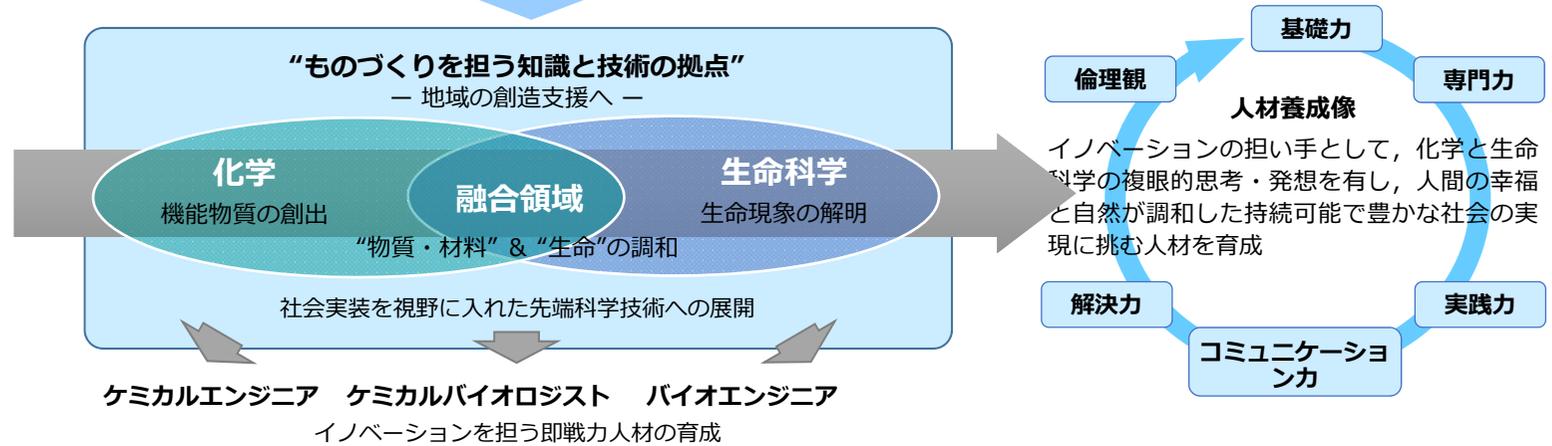
医療費の増大



「化学 + 生命科学」から「化学 × 生命科学」への深化

求める資質・能力（募集人員70名）

- (1) 化学反応や生命現象に対する好奇心
- (2) 自ら積極的に学び理解する努力
- (3) 実験・実習への意欲
- (4) 科学的かつ論理的思考への自覚
- (5) 自分の考えを具体的に述べる力
- (6) 数学、理科、英語の基礎的事項の理解



カリキュラムの特徴

- 化学と生命科学の基礎科目の同時修得
- 工学技術の基礎 & 応用に関する実学教育
- 産学連携に配慮した教育に向け企業人講師の採用など教育面での産学連携
- イノベーション創出ネットワークを介した領域横断的教育

想定される就職先

- <民間企業> 材料・化学メーカー，装置製造，環境分析，機械，電気・電子，自動車，石油化学，食品，化粧品，医・農薬，臨床検査・診断
- <公務員> 国家公務員，地方公務員
- <教育機関> 高校教員
- <その他> 大学院進学

【アドミッションポリシー】

化学反応や生命現象に対する好奇心にあふれ、自ら積極的に学び理解を深めることに努力を惜しまない学生、持続可能な発展をめぐる諸問題に目を向け、解決しようとする意欲や使命感をもつ学生、自然現象や身近な現象を科学的かつ論理的に考えようとする学生を受け入れる。

【カリキュラムポリシー】

化学と生命科学に関する基礎知識および応用能力・実験技術を身につけ、生命・環境・材料など現代および将来的に社会で生じる重要な課題に対して解決できる能力および豊かな人間性や崇高な倫理観を併せ持ち、国際的に活躍できる研究者・技術者を育成するためのカリキュラムを編成する。

【ディプロマポリシー】

化学や生命科学の基礎力を身につけ、実験事実を論理的に考察する能力、工学的応用分野への展開能力、学際分野にも高い関心を示し、地域・社会が求める重要課題の解決に挑む能力を涵養する。